



夫 静 夫  
議員 ひとり暮らし世帯、  
吉岡 議 ひと暮らし世帯、  
おとしより世帯への対応

ひとり暮らし世帯、  
おとしより世帯への対応

質 問

孤独死・孤立死が各地で起きるなど、その対応が社会問題化しつつあるが、当市における実態、課題について伺う。

市長答弁

孤独死や孤立死の明確な定義はないが、死亡で発見された件数では平成21年度が8件、22年度が11件、23年度は2月末現在10件である。孤立しない環境づくりが課題であり、民生委員を中心とする地域住民による見守りや支え合いの強化

が重要と考えている。

「おとしより都市宣言」「おとしよりのまちづくり運動」などへの取り組み

質 問

急激な高齢化を真正面から見据え、この際「おとしより都市宣言」「おとしよりのまちづくり運動」等をテーマに据えるときと考えるがどうか。

市長答弁

市は「はつらつ健康都市宣言」を行い、市民全体で健康づくり運動に取り組んでいる状

《その他質問項目》

- ・「市議会議員の数」、定数問題
- ・「除雪・排雪」に対応しきれない世帯への対応
- ・「柵口温泉センター」の今後
- ・旧「姫川病院」、その後と対応

況でもあり、今のところ都市宣言や運動は考えていないが、これからもお互いが支え合うまちづくりを目指していく。

## 特別委員会 中間報告

3月定例会初日の2月27日、新幹線・港湾等交通網対策特別委員会及び一般廃棄物最終処分場等調査対策特別委員会の両委員会が中間報告を行っています。

報告概要は次のとおりです。

### 新幹線・港湾等交通網対策 特別委員会中間報告

当委員会では、並行在来線等の課題に対して、今後の活動の方針を次の4点にまとめた。

(1)糸魚川駅と県都新潟駅までを結ぶ優等列車の運行継続を求めていく。

(2)普通列車の運行については現在の利便性の確保を基本に、ダイヤの見直しや新駅設置等の検討もを行い、利便性の向上を求め

ていく。また、運賃や安定性等への配慮を求めていく。

(3)沿線自治体の財政負担への配慮を求めていく。

(4)富山方面からの快速列車の運行を求めていく。

これら4点に基づき、今後、関係機関への働きかけや、沿線市町との連携等の活動を進めていく。

また、新潟県と国で合意された並行在来線の運営に対する国の支援等についても引き続き調査を行っていく。

### 一般廃棄物最終処分場等 調査対策特別委員会中間報告

昨年11月30日、当委員会も同席した、市による大野地区の方を対象に開催した説明会では、現理立地の適正化事業と新たな処分場の整備事業について、地元区から承諾が得られた。英断を下された皆様に対し心より御礼申し上げます。

一般廃棄物最終処分場の適正化について、株式会社日立製作所との「合意書、覚書、契約書及び仕様書」に関して

は、委員会が指摘していた事項を市が同社と調整したことから、2月21日の第9回の委員会において、慎重審議の結果、了とした。

新しいごみ処理施設については、これを検討する「ごみ処理あり方検討委員会」が、5月を目前に適正な処理システムの方向付けなどの中間報告を行う予定であり、今後とも計画的に調査を進めていくと考えている。

